



国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
中国技術事務所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau
Chugoku Technical Office

Press Release

記者発表日

平成29年8月24日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

岡山県政記者クラブ
岡山市政記者クラブ

中国建設新技術レビュー最新号を発行します

～またまた新企画「発注者指定技術の活用」が登場しデザインも一新しました～

中国建設新技術レビューの最新号(第5号)を発行します。またまた新企画として「発注者指定技術の活用」が始まりました。さらにデザインも一新し、読みやすくなっています。是非ともご一読下さい。

最新号では、平成28年度の全国における新技術活用ランキングや平成29年度推奨技術・準推奨技術の紹介を行っています。また、中国地方整備局における新技術の活用状況(平成29年4月～7月)の取りまとめや平成29年度第1回「新技術活用評価会議」(7月14日開催)で審議された技術の紹介、中国地方整備局で新規にNETIS登録(平成29年4月～7月)された技術の紹介も行っていきます。さらに、「新技術活用現場リポート」でも活用数が上位にランキングされた(プレキャスト高潮堤防護岸工法)活用状況(岡山県高梁川)の紹介をすると共に、前号から始まった企画「地域の問題に生きる建設技術」では、山口県長門市で整備している長門・俵山道路で活用された発破超低周波音消音装置(TBIレゾネータ Type-F)の技術紹介も行っていきます。

新企画「発注者指定技術の活用」では、発注者指定型での活用ランキングや上位の技術等の紹介をはじめました。今号では平成28年度1位の(サンタックスパンシール誘発目地材)の技術紹介をしています。また、連載企画シリーズ「i-Construction」では、ICTの全面的な活用に伴い、工事の実施において重要となる3次元データによる検査の流れを紹介すると共にメンテナンス技術と新技術(路面下空洞探査)や新技術と防災技術の接点(熊本大震災で活躍した分解組み立てバックホウ)を掲載しています。

今後も、建設新技術の利活用に対する新しい情報を伝えることによって、新技術の導入や普及を応援し、建設事業の生産性向上に繋がるように情報を発信していきます。

■公開方法：中国技術事務所ホームページ(PDF電子版A4縦)

(<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/topics/review/>)

中国技術事務所及び管内各事務(管理)所 新技術担当窓口(誌面版A4縦)

■発刊時期：第5号(vol.5)平成29年8月25日

■備考：本誌の内容について取材を希望される場合は、事前に下記問合せ先までご連絡いただきますようお願いいたします。(配布無料)

問 合 せ 先

国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所



総括技術情報管理官

もり やま ひろし
森 山 博

建設専門官

もり わき ひろし
森 脇 広 志

住 所：広島県広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電 話：082-822-2340(代表)

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

中国建設新技術レビュー
第5号ひとこと解説

No	記事名	内容 (第5号)	備考 (第4号)	備考 (第3号)
1	巻頭言	新技術活用の現状と課題 (技術管理課長 貞任 俊典)	新技術を活用し技術革新に 取り組むAction (機械施工管理官 玉田 一雄)	新技術の活用で 工事現場の活性化 (技術開発調整官 中川 哲志)
2	新選に登場された新技術 中国地方整備局登録 (平成29年4月～29年7月)	かんたんグレーチングをはじめ6技術	(6技術)	(7技術)
3	全国(国土交通省直轄工事)における新技術活用ランキング (平成28年度)	平成28年度、全国(国土交通省直轄工事)で活用された新技術のランキングとこれまでの活用率	中国地方整備局管内で活用された新技術のランキング (H28年度)	—
4	中国地方整備局における新技術活用の進捗状況 (平成29年4月～平成29年7月)	平成29年度、中国地方整備局管内で活用された新技術の事務所別活用件数と活用率(平成29年4月～平成29年7月)	(平成28年度集計)	(平成28年4月～平成29年11月)
5	中国ランキング上位技術の概要 INr搭載低騒音型バックホウ	低騒音に優れ、施工時の安全性や周辺環境への配慮等に幅広く対応できるバックホウ	(ジョイントテックスGT-400)	(ジョイントエース JA-40)
6	地域の話題に生きる建設新技術 発破超低周波音消音装置 (TBILレゾネータType-F)	トンネル発破時に発生する超低周波音(20Hz以下の音波)と共鳴する音響管を鋼製架台に搭載したもので、発破で顕著な4Hzや8Hzなどの音を抑制する技術。	(連続鉄筋コンクリート舗装用斜交メッシュパネル)	—
7	新技術活用評価会議便り 平成29年度第1回 (平成29年7月14日開催)	道路維持修繕工2技術をはじめ全5技術を評価	(平成28年度 第4回評価会議全7技術)	(平成28年度 第3回評価会議 全6技術)
8	シリーズ「Construction ⑧ICT土工の新基準(H29.4～)	平成28年度基準類の一部改定と、小規模工事への適用のため基準類の新設・改定を紹介	(⑧ICT施工管理基準)	(⑧全体最適の導入)
9	新企画 発注者指定技術の活用	・中国地盤における活用の方向性 ・発注者指定型での活用ランキング及びサンタック懸架目地の紹介	—	—
10	新技術活用現場レポート プレキャスト高潮堤防護岸工法	現場打と同様の使用・性能を確保して、基礎工・被覆工・波返工の構築が図れるコンクリート型壁型枠工法	(自走式土質改良機(リテラ))	(KKシート工法)
11	平成29年度推奨技術・準推奨技術	プッシュチョッパー&アースシェーバーをはじめ6技術	—	—
12	新技術活用の知恵袋	発注者指定の活用	(設計業務における注意点)	(工事評点における加算)
13	メンテナンス技術と新技術 (路面下空洞調査)	道路等の表面下の空洞を探査車で調査する技術	(3次元座標データを計測する車両搭載型レーザー計測装置)	(長寿命化計画)
14	中国地方におけるアルカリシリカ反応に関する調査	公益社団法人日本コンクリート工学中国支部アルカリシリカ研究委員会の調査検討結果 (委員長 鳥取大学教授 黒田 保)	—	—
15	新技術活用と防災技術の接点 (分解型立式バックホウ)	民間ヘリコプターが運搬可能な1/パーツ当たり3t以下に分解できる、また、連隔装置機能も有している。	(SAR(Synthetic Aperture Radar: 合成開口レーダ))	(災害時に活用される技術の概要と水防工法の新技術)
16	お知らせ	平成29年度 中国新技術開発交流会の開催予定	—	—